

真盛園運営方針

1. 人間平等の原則の上で立つての福祉の増進
2. 宗教的雰囲気の中で心の安らぎ
3. 恵まれた自然環境の下での健康維持



叡南俊照様よりご寄贈
いただきました。

1番危険なのは仕事を終えホッとして
気が緩んでしまうことです。真盛園の職

をすることを。ここで昨年2月に中国武漢市で発症
した新型コロナウイルスが全世界で猛威を
振るっています。私は令和2年8月1日
発行の「しんせい145号」で、当園として
出来る限りの感染対策を書かせていた
きました。今一度力を入れるならば、私
達、真盛園職員145名が一人として新
型コロナウイルスにからまないよう再注意
をする事です。

コロナ禍で令和3年を迎え、安心安全
な社会を祈りつつ、毎日が緊張と不安な
気持ちの中、去る1月27日に比叡山律
院叡南俊照大阿闍梨様から立派な大き
い胡蝶蘭を頂きました。利用者様に見
て頂きたいとご本人自身が真盛園に持
てこられました。コロナで気分が晴れな
い毎日が、いつに明るく落ち着きま
す。叡南阿闍梨様ありがとうございます。



園長 前阪良憲

穏やかな令和の時代へ

場を離れ家庭へ帰ると自由な身になりま
すが、高齢者施設で従事していることは
1番感染度が高い施設であるということ
です。職員一人一人がコロナに罹らない、
うつさない為にも、毎日正しく生活する
ことを自覚することです。買い物、集会、
食事会、等三密にならないように、また
外出時にはマスク着用、帰宅後は手洗い
や検温、消毒等は常識となっています。
しかし一寸の不意でコロナに感染し利用
者様に迷惑をかけクラスターになりかね
ません。そう思うと職員の皆様には大
変なご苦労を掛けています。目には見え
ない労苦やストレスを掛けています。

私は、利用者の安全、衛生、保健管
理はもとより職員が健康で気持ちよく
働ける職場作りが心掛けていますが、終
戦後の昭和、平成、令和時代は科学が
進歩し医学、医療、文化、情報可能な
近代社会です。余り不自由さがなかった
よう感じられます。しかし新型コロナウイルス
感染症によつて生活が変し、困難さ
が強いられています。一刻も早く全国民
にワクチン接種が行き渡り、新型コロナ
ウイルスが終息し普通の生活に戻るよう
祈っています。

このようなことを書いていくうちに、
元三大師良源を思い出しました。良源
(平安時代)は正式な名前は慈恵大師良
源大僧正で比叡山第18代目の天台座主
で比叡山延暦寺の中興の祖ともいわれ
ています。正月の3日に亡くなったから元
三大師ともいわれています。

永観2年(984)に疫病が流行し、
良源のところに疫病神が現れたそう
です。良源は疫病神に私の体の中に入れて
言つて入れたとたんに高熱で激痛が走つた
ところで、佛法の力を使って体に入った疫
病神を追い出した。その祈禱により疫
神がびっくりして逃げ去ったと言われ

元三大師良源



角大師の護符

山本門盛麓台

総本山西教寺お札

知らないうちに、拡めちゃうから。



厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp>

大防止を呼び掛けています。
元三大師(角大師)、妖怪アマビ
エに薬にもすがりたい気持ちで、
江戸時代の人々が疫病を退治し
ていたことは、現代の私達は何
かを教えておられるのではないだ
ろうか。
サンライズ出版「元三大師良源」
参照

人権研修

～虐待を含め、パワハラ、セクハラ等ハラスメント防止と
その視点～(2021.1.19)

講師：福祉リスクマネジメント研究所 所長 烏野 猛

コロナ禍で研修もままならない時期、オンラインを利用して、
zoomでの人権研修を行いました。真盛園の会議室において、
感染予防のため少数人で参加し、参加できない職員は、研修の
動画・録音・資料等で受講します。話す側と聞く側とが離れて



いても講師との
距離が短く感じ
られ、また時間
と費用が節約で
き有意義な研修
でした。ありが
とうございま
した。

ご寄贈

頂きました
ました



比叡山中学校 ボランティア委員会様より・・・雑巾

後編 集記

毎日配達される新聞
そしてテレビ、ラジオ。
新型コロナウイルスの状
況、各県のコロナ感染
状況、ワクチンの情報がきめ細やかに
報道されています。聞くたびに毎
日が緊張と不安ばかりです。「しんせい」
を発行するに当たりやはりコロナから
離れることはできません。1面に思い
のままを書きました。

ところで令和に入り、1つは新型コ
ロナウイルス、2つ目は明智光秀の菩
提寺西教寺「麒麟がくる」が大々
的に放映されました。本能寺合戦の
後の2月7日の最終放映で光秀が生
きていたシーン、光秀は農民に殺さ
れたという話があるが、一方で伝説
によると光秀は、徳川家康の側近と
して延暦寺の復興の礎を築いた天台
大僧正という説もある。比叡山焼き討ち後、坂本西教寺を再建、108歳
まで生き、延暦寺根本中堂を復興、日光輪王寺、江戸寛永寺に尽力さ
れた話は満更でもない。3つ目は今年開催される2020東京オリンピック、
パラリンピックが開催されるに当たり、トップスタッフが橋本聖子オリンピ
ック組織委員長・丸川珠代五輪大臣・小池百合子東京都知事3名の力で
成功することを祈りつつ、令和3年がコロナの終息を期待し、めでたしめ
でたしで終わってほしいものである。
前阪良憲(記)

《令和2年12月31日付け退職者》
木下 知美
(総務部課長 勤続28年)
西沢 知子
(訪問看護ステーション和顔 看護師 副主任 勤続16年)
小倉 慶子
(地域交流センター 若いも若きも コーディネーター 主任 勤続15年)
長期に渡りお世話になりました。

「消火訓練」

秋の防災訓練が例年11月に行
われていましたが今年はコロナ禍
が収まらず、春の訓練に引き続き密を避けるため机
上訓練となりました。例年秋の訓練では、消防署立
会いの下終了後には講評をいただき、その後新人
職員対象に消火訓練のご指導いただくことになっ
ていました。机上訓練とは別に消防署より模擬消火
器を借り、防火管理者と相談員が説明を行い、新
人職員に火の元に模した的に水消火器を実際さな
がら放水してもらいます。また、館内に設置してい
る消火栓の取り扱いについても1人で出来る手順を学
びました。消火体験した職員からは「知らなかった
ことや手順などが解って良かった。」と感想が聞け
ました。

これから空気が乾燥し火災に繋がる時期に入
るので、起こらない事が1番だが万が一の場合、今
回訓練を受けた職員だけでなく各職員が落ち着
いた初期行動ができたらと思
います。



「春の訪れ・・・」

令和3年2月2日、124年
ぶりの2月2日の節分の日

が来ました。
真盛園も恒例の節分会、でも何かが…新型コ
ロナウイルス感染症対策で鬼がいません。園長
曰く「鬼も新型コロナウイルス感染症で自粛し
ています」と節分会に参加してくれた利用者さ
んに言っておられました。御祈禱の後、各居室
に豆を巻き、利用者さんには優しく、職員にはき
つく豆を巻いて、邪気を払っていただきました。
早く、新型コロナウイルス感染症が終息して、今
年は色々な行事が出来るように願います。



「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」 「医療機関・薬局等における感染症拡大防止等支援事業交付金」

新型コロナウイルス感染症に係る支援として、介護施設等に感染症対策や介護サービスを継続的に提供できるよう滋賀県より支援交付金をいただきました。当園対策の1例をご報告させていただきます。

特別養護老人ホーム居室エアコン設置(6部屋)



居室の加湿、除湿、換気ができるエアコンを導入し、利用者さんに安心して過ごしていただけるようにしました。

養護老人ホーム職員室拡張工事



改修前は倉庫と職員室が分かれており、職員室が非常に狭く職員同士が密になっていました。倉庫と職員室を一体化したことによって広いスペースが確保できました。

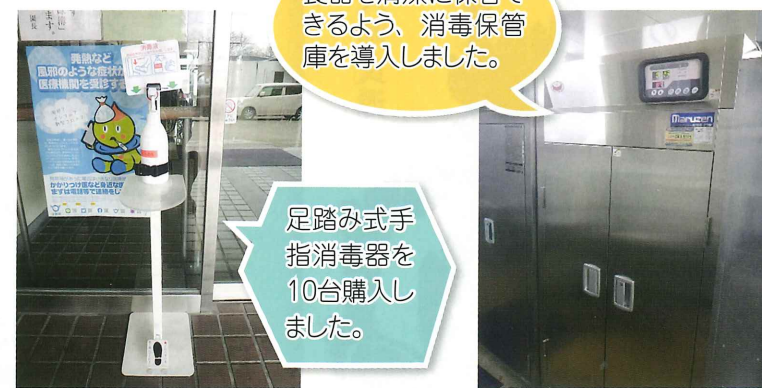
その他各サービスで以下の物品等を購入させていただきました。(1例をご紹介します)



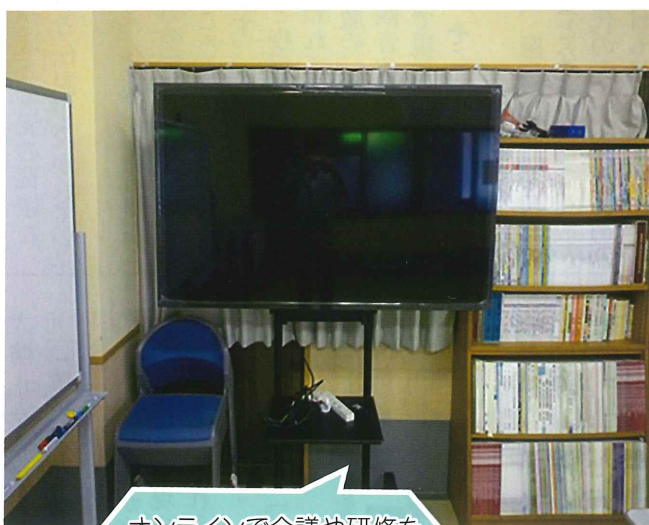
毎朝、園長が本堂でお勤めをされる様子を居室でお参りできるように、ビデオカメラを設置しました。



空気が循環するよう、ファンを3基取り付けました。



食器を清潔に保管できるように、消毒保管庫を導入しました。



オンラインで会議や研修を受けられるよう、大型モニターとパソコンを購入しました。

その他、衛生用品等を購入させていただきました。

交付金 内訳

介護	特養：4,370,000円	ショート：440,000円
医療	デイ：892,000円	居宅：148,000円
	養護：2,220,000円	訪看：518,000円
	訪看：700,000円	
合計	法人：9,288,000円	

新人採用について

令和3年になり、2月までに新しく介護職員と調理員が入職しました。それぞれ所属部署で利用者様のことを覚えよう、早く先輩職員のように仕事ができるようにと奮闘してくれています。

その手助けというわけではありませんが、当法人では新人教育の環でプリセプター制度というものを取り入れています。新人に経験ある職員が指導にあたるというものです。新人教育はもちろん、指導にあたる職員も新人への指導を通じて、改めて普段何気なく実施しているケアを見つめ直す機会が持てます。振り返り、ケアを見つめ直すことで、当法人の介護方針でもある「サービスの質の向上」にも繋がっています。

また新人は、入職したばかりで不安な気持ちでいっぱいだと思います。そこで指導にあたる職員を特定することで、しっかりとコミュニケーションがとれ、少しでも不安を取り除けるようにしています。プリセプター制度を取り入れて、まもなく5年になります。まだまだ課題はありますが、採用後の新人の不安、また指導にあたる職員の成長を目指すという意味でも継続して実施していきます。

藤田規央美
(調理職員)

原 祐希子
(介護職員)

新人職員紹介

オンライン面会の様子

感染予防のため、真盛園でもオンラインでの面会をお願いしております。
ご家族が画面に写ると「元気にしているよ。」と声をかけられる利用者さん。お孫さんやひ孫さんと会えたり、中にはペットのワンちゃんの登場に、話しも弾みとても嬉しそうな表情をされています。ご家族のみなさんからも「普段の様子を電話で聞いてはいても、やはり顔を見て話せると安心します。」と喜んで頂いております。



《令和2年度表彰者》

■全国老人福祉施設協議会感謝状
受賞者 田中 淳史
樋口 智子

■社会福祉功労者滋賀県知事表彰
受賞者 木下千恵子

■大津市長表彰
受賞者 高橋 清志
原 健

■滋賀県社会福祉協議会会長表彰
受賞者 安部 裕子
大芝 永生
西村祐三子
原沢奈津子

■大津市社会福祉協議会会長表彰
受賞者 石本 勝弘
鶴飼 達史
岡田 寛
川橋 忠之
高坂 雄紀
澤田 早苗
中村 智章
福井 齋

■滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
受賞者 大西 史子
梶浦 裕紀
篠原 弘美
古澤 絢子
村木 法子

(敬称略)